

私たちの仕事は、特別な日を創ることで

# CERESPO

## NEWS

vol. 94 July 2017

セレスポ  
セレスポ・ニュース  
平成 29 年 7 月発行  
第 94 号

お濠、大阪の街を駆け抜ける  
大阪城トライアスロン2017

NTT ASTC  
トライアスロンアジアカップ  
(2017/大阪城)

大阪城トライアスロン 2017

セレスポ  
Pick Up

気軽に楽しみ、楽しんで学ぶ  
なないろスポーツフェスタ





Swim



Bike

# お濠、大阪の街を 駆け抜ける 大阪城トライアスロン



6月25日、大阪でトライアスロンの国際大会が行われました。一般参加を含む、885名の選手が大阪城、玉造筋<sup>たまつくりすじ</sup>一带を走り抜けました。同イベントは今回が初開催、選手達が“お濠”を泳ぐトライアスロンの公式大会も世界“初”。時折、激しい雨が降りつつも選手、観客は最後まで熱気に満ちていました。

## トライアスロンが 過酷だと言われるのは？

トライアスロンは“3つの種目”を意味します。起源は比較的新しく、1970年代に生まれた新しいスポーツ競技です。スイム、バイク、ランの3つの競技をひとりのアスリート（2～3人のアスリートによるリレー形式もあり）が自力で駆け抜ける。過酷なレースとしても有名ですが、実は幅広い年齢層に親しま

れる競技です。

「過酷である」と言われる所以は、国際基準で定められている“距離”に由来



します。最も長距離の「アイアンマン・ディスタンス」は、スイム 3.8km、バイク 180km、ラン 42.195km の合計 226km を走り抜けます。これは東京から静岡県磐田市、福島県郡山市とほぼ同じ距離。車でも3時間強かかる距離を人力で17時間以内の完走を目指す非常に過酷なレースです。見事、この距離を完走できた選手には「アイアンマン＝鉄人」の称号が与えられる。これが「鉄人レース」と呼ばれる由来にもなっています。

Interview



## 世代問わず楽しめるトライアスロンを 知って欲しい、挑戦して欲しい

トライアスロンは過酷な印象がありますが、私は46歳のときに初めて挑戦しました。60歳を越えたいまでも年4～5回大会に出場しています。トライアスロンは3種目をトレーニングするため、身体をバランス良く鍛えることができるため、怪我が少ないスポーツです。

水泳が苦手なら最初に水泳からやってみても良い。得意な競技から始めてみても構いません。お互い厳しい競技に取り組んでいるので尊敬の念を持ちながら、子どもからお年寄りまでみんなが楽しめるスポーツです。多くの人にトライアスロンを知ってもらい、挑戦して欲しいと考えています。

現在、日本では35万人の愛好者、300近いトライアスロン大会が行われています。これを50万人、500大会にしていきたい。インターハイでも正式競技として取り入れてもらおう、国際大会で活躍できる選手を育てていくなど、真剣に取り組んでいきたいと考えています。

まずは「知って欲しい」、観光地としても有名な大阪城は選手にとっても観客にとっても最高の立地だったと思っています。今回が1回目だったため、課題はこれから出てくると思います。1つひとつをクリアにして、来年も開催していきたいので、みなさんのお力をお借りできれば嬉しいです。



日本トライアスロン連合会長  
岩城 光英(いわき みつひで)さま



# トライアスロン2017

NTT ASTCTトライアスロンアジアカップ(2017/大阪城)／  
大阪城トライアスロン2017



## 大阪城に6万5千人もの 観客が集結

大阪城トライアスロンは、総距離約26kmの「スプリント・ディスタンス」、約51.5kmの「スタンダード・ディスタンス」を開催。最高齢80代のかたも参加するなど、幅広い年齢層の選手が集まりました。

大きな特長は「お濠」を使ったスイム特設コース。黒いウェットスーツに身を



エリート部(海外競技団体推薦選手、日本トライアスロン連合の強化、推薦選手)の入賞者たち

包んだ選手が大阪城の石垣をバックにお濠を泳ぐ姿はまるで忍者のようでした。バイクコースは玉造筋<sup>たまつくりすじ</sup>を利用し、街中を疾走する素晴らしいロケーション。

6万5千人にも及ぶ観客の中には「たまたま近所まで来たので」「以前からトライアスロンに興味があった」と話すかたもいました。本大会は間近でトライアスロンのダイナミックさを感じられるのも魅力のひとつです。

トライアスロンに挑む選手たち、それを見守る観客……その場に集まった全員が一丸となれる競技であることが感じられました。

## Event Data

- NTT ASTCTトライアスロンアジアカップ(2017/大阪城)／大阪城トライアスロン2017
- 2017年6月24～25日
- 大阪城公園及び周辺特設コース、東外壕特設コース
- 大阪城トライアスロン2017大会組織委員会



## REPORT

## トライアスロンの ような 仕事をしていきたい

株式会社セレスポ  
スポーツ事業部  
スポーツ事業推進室  
山根 謙治  
(やまね けんじ)



今回の大阪城トライアスロンは、第1回目の開催で公道を使うほか、スイムコースが大阪城のお濠だったこともあり、メディアにも注目していただけていました。また、大阪城は観光名所のひとつ。地域住民だけではなく、観光客、大阪城公園の利用者のことも考え、より安全面に気を配りました。

初開催だったのは私たち以外も同じ。誰もが手探りで進めていく中で、私たちはイベントのプロフェッショナルとして、あらゆる事態を想定し、密な打ち合わせを行いながら準備を進めてきました。

イベントの仕事に正解はありません。イベントごとに条件も違えば、観客、ターゲットも変わってきます。如何にそれまでの経験を基にアレンジを加えていくかが成功に繋げる鍵だと考えています。主催者、参加者、観客、現場スタッフ、それぞれの気持ちを引き出して、トライアスロンのように一緒にゴールに向かっていけるような仕事をやっていきたい。

これから、日本で行われる国際的なスポーツイベントが増えてきます。今回の大阪城トライアスロンで得た経験を生かして、すべてのイベントを「成功」につなげていくことを目指していきたいです。

セレスポ  
Pick Up

# なないろスポーツフェスタ

セレスポは7月2日(日)に開催された「第1回なないろスポーツフェスタ」(主催:筑波大学体育系、共催:茨城県)に協賛しました。このイベントは、スポーツの持つ7つの価値である「卓越、友情、尊重、勇気、決断、鼓舞、平等」を共有する「スポーツと教育」のイベントです。



## 気軽に楽しみ、 楽しんで学ぶ



当日は、茨城県つくば市の洞峰公園でランニングイベントと教育プログラムが行われ、約1000人のかたが参加し、参加者・家族・友人の笑顔と応援、スポーツの楽しさで溢れました。「なないろ駅伝」では、年齢や国籍、性別、障がいの垣根を越えた1つのチームがタスキをつないでいき、最後まで勝負の行方がわかりませんでした。



4時間にも及ぶ「なないろ耐久リレー」では、ゲストランナーや筑波大学陸上競技部の選手とタスキをつなげる助っ人システムもあり、より多くのかたが気軽に参加して、楽しめる工夫も凝らされていました。

「教育プログラム」は「走・跳・投」という陸上の基本やパラスポーツなど、カラダを動かす楽しさを感じながら、スポーツのこと、障がい者スポーツのことを学ぶこ

とができました。

身体的な違い、スポーツに対する能力や意識の違いのある人がこれだけ多く集まり、共に楽しめるイベントは貴重です。参加者、公園に訪れた地域の方の楽しそうな笑顔や声がそれを表していました。次回以降は地域の方と共に育っていくイベントとして価値を高めていくことを引き続き支援していきたいと思います。

**発行** 発行日：平成29年7月20日

発行元 株式会社セレスポ (CERESPO CO.,LTD.)  
〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-21-5(本社)  
TEL : 03(5974)1111 FAX : 03(5394)7651  
<http://www.cerespo.co.jp/>

編集 山川 謙 (yawn)  
記事 コーポレートデザイン室  
デザイン ジッピーデザイン

編集後記

豊臣秀吉によって築かれた大阪城は、1615年大坂夏の陣で落城後に徳川家によって新しい大阪城へと再建されました。しかし、それも江戸末期の放火でほとんど焼失してしまい、昭和に入って天皇即位記念事業などのさまざまな整備を経て、現在に至ります。建築当時は力の象徴であったお城もさまざまな歴史を経て、各地域の象徴になりイベント会場として使用されるなど、私たちの生活の中で生き、未来へ受け継がれていくのだなと感じさせられました。

今回の大会もインパフト抜群。大阪城のお堀を泳いだり、公園を駆け抜けたりと“大阪”を感じながら、トライアスロンの魅力や迫力も感じることができ、選手だけでなく観客も見どころ盛りだくさんでした。